

取扱説明書

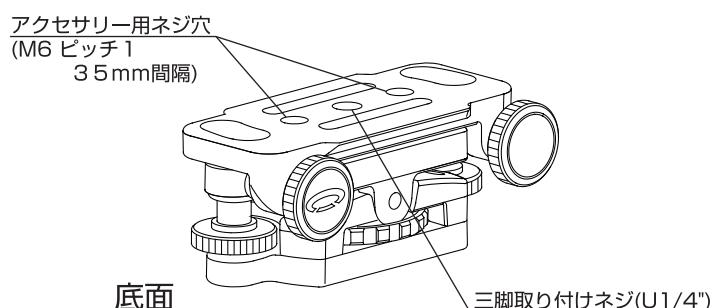
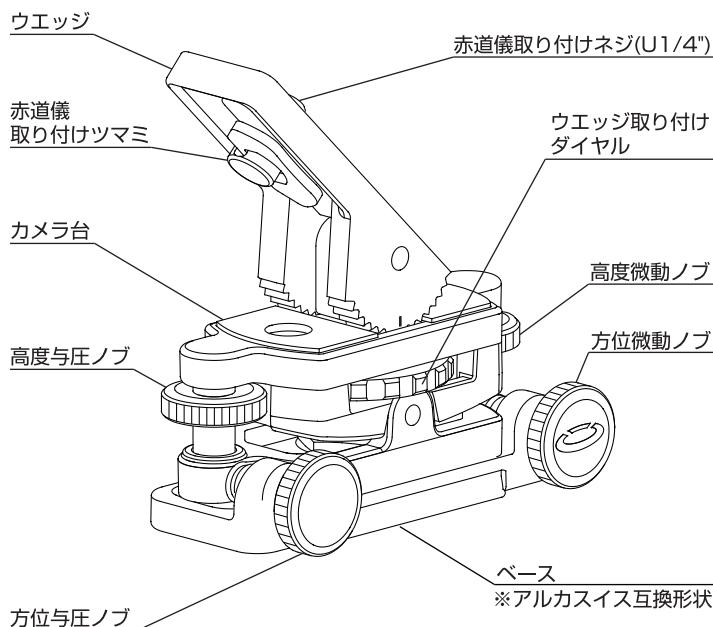
このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

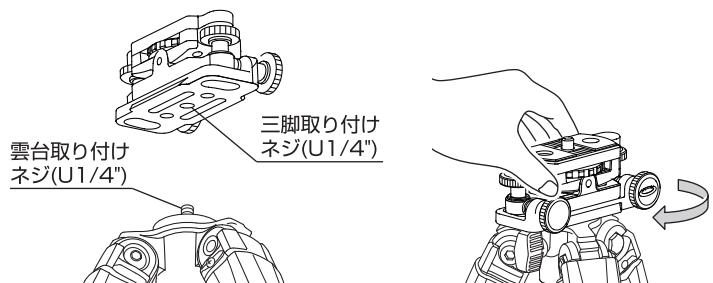
🚫 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

S683-1

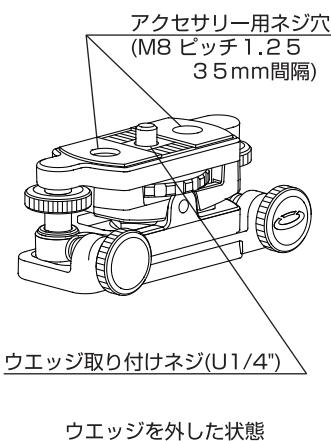
各部名称



取り付け方（三脚への取り付け）

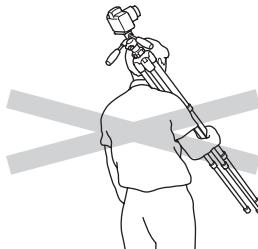


フィールドスコープ等を使用する場合は、使用する状況に合わせて
三脚に直接取り付け or 雲台へ取り付けのどちらかを選んで取り付けてください。
三脚に直接取り付けるときは、三脚の雲台取り付けネジと底面の三脚取り付けネジ
を合わせ、時計まわりにまわしてしっかりとねじ込みます。
ポータブル赤道儀を使用する場合は、三脚に直接取り付けてください。



持ち運びのとき

🚫 禁止



カメラや観測機材は三脚から外して
持ち運んでください。
カメラや観測機材の落下、使用者や
周囲の人へのケガ、物損等を起こす
可能性があります。

仕様

全高(本体)	37 mm
全幅	88 mm
奥行き	46 mm
質量(ウェッジ込み)	250 g
カメラネジ	U1/4"
三脚取り付けネジ	U1/4"
高度調整角度	20° (±10°)
方位調整角度	16° (±8°)

搭載する機材

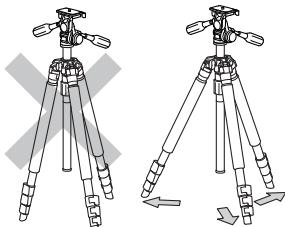
🚫 禁止

最大搭載質量 : 6kg

これ以上の機材は載せないでください。
また上記搭載質量以下でも重心位置
によりバランスのとりにくいもの
あります。
三脚もこれに合ったものを選んで
お使いください。
使用的する機材によっては重心位置が
大きく偏る場合があります。
カメラ台への取り付け位置の調整や
ウェッジの取り付けネジの位置を
スライドさせて製品の中心に重心
位置がくるようにしてください。

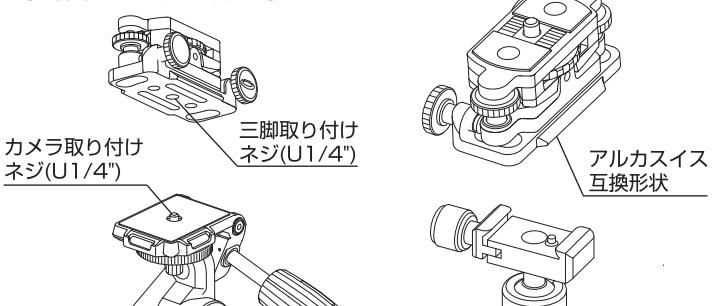
機材のセットアップ

⚠ 注意



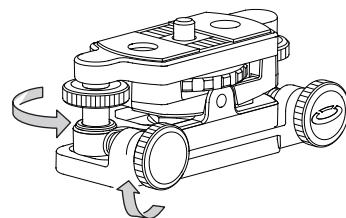
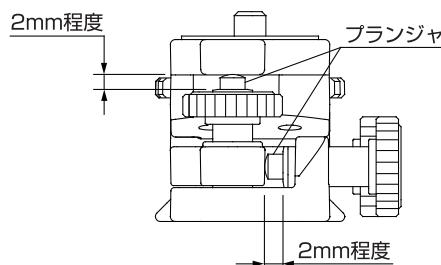
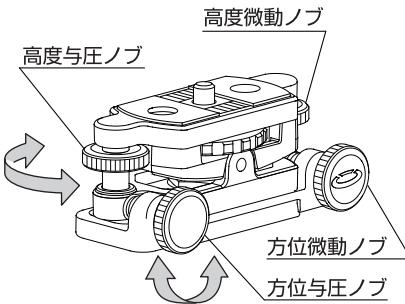
機材の取り付け、ハンドル、ツマミ、
レバー類のロックは確実に行って、
落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を開いてください。
脚の開きが不十分だと不安定でカメラ
ブレや転倒の原因になります。

(雲台への取り付け)



雲台のカメラ取り付けネジと底面の三脚取り付けネジをあわせ、雲台のカメラ
取付ネジをまわしてしっかりとねじ込みます。
ベースは、アルカスイス互換形状になっていますか、他社製品など雲台の形状が
異なる場合は取り付けできない可能性がありますので、ご注意ください。

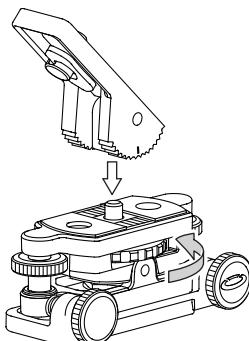
微動調整の使い方



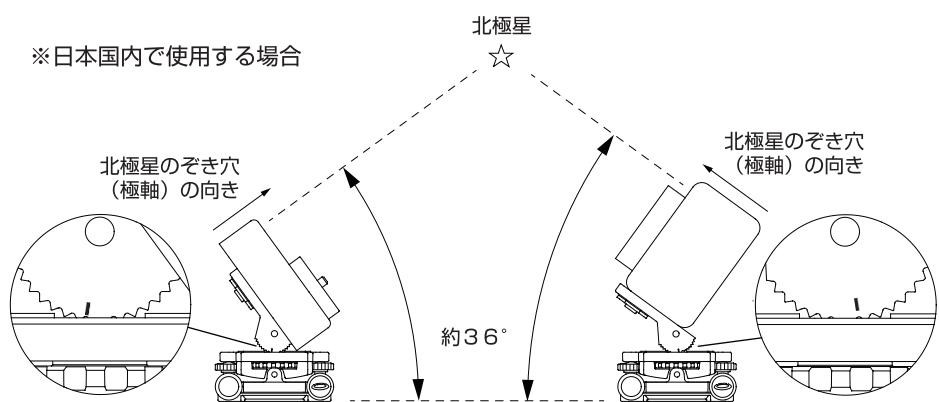
高度与圧ノブ・方位与圧ノブをそれぞれまわして、プランジャが2mm程度出るように調整します。
プランジャが出た状態になると、微動ノブを操作することができます。
微動調整の範囲が大きい場合は、与圧ノブ・微動ノブをそれぞれ回しながら調整してください。

雲台をロックする場合は、プランジャが見えなくなるように与圧ノブを回します。
さらに回すと雲台をロックすることができます。
このとき、与圧ノブを回しすぎないようにしてください。

ポータブル赤道儀の取り付け方



※日本国内で使用する場合



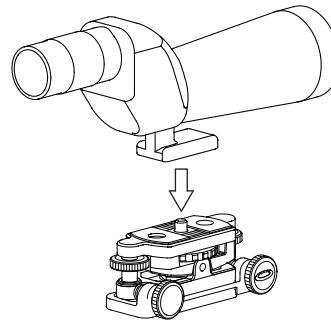
ウェッジ取り付けダイヤルをまわしてウェッジを取り付けます。
このとき、本体の溝とウェッジの山を合わせて取り付けてください。

使用する製品の北極星のぞき穴の向き（極軸）と、
ウェッジの取り付け面が垂直な場合、上図の位置に
指標が来るようになります。

使用する製品の北極星のぞき穴の向き（極軸）と、
ウェッジの取り付け面が水平な場合、上図の位置に
指標が来るようになります。

ポータブル赤道儀の取り付け方 (つづき)

フィールドスコープ等の取り付け方



指標はウェッジの取り付け面を基準に45°の位置に入っています。
また、ウェッジの角度調整は9°きざみで調整できます。
使用的する場所の緯度に合わせてウェッジの取り付け角度を変えて使用してください。

フィールドスコープ等のカメラネジと
ウェッジ取り付けネジを合わせ、
ウェッジ取り付けダイヤルをまわして
しっかりとねじ込みます。

取り付け時の重心位置

⚠ 注意

取り付けた製品の重心位置によっては
プランジャが沈んでしまい微動調整が
正しく行えない場合があります。
そのときは、ウェッジの取り付け方向を
逆にするか赤道儀の位置をずらし、
重心位置が高度微動ノブ側になるように
調整してください。

天体用アクセサリーの取り付けについて

⚠ 注意

雲台の上面にM8 ピッチ 1.25、
底面にM6 ピッチ 1 のネジ穴が2つ
あります。
ネジ穴の間隔はそれぞれ35mmです。
他社製の天体用アクセサリーを取り付け
する場合は、雲台側へのネジの長さを
以下の長さにしてください。
M8: 7mm以下
M6: 6mm以下
ネジが長すぎると作動不良や破損の
原因となります。

禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
破損、故障の原因となります。
- 可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店または
アフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。
夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よされたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますので了承ください。
©2017 SLIK CORPORATION